

IAUD Newsletter vol.13 第 10 号(2021 年 1 月号)

1. 古瀬理事長より新年のご挨拶..... 1
2. IAUD 国際デザイン賞 2020 プレゼンテーション/表彰式開催報告..... 2
3. オンライン第 4 回 UD 検定・初級開催のご案内..... 6
4. IAUD2021 年 1 月の予定..... 6

UD を推進して SDGs 達成に貢献を

古瀬理事長より新年のご挨拶

謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も IAUD へのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス対策のため、IAUD では評議員会や理事会、研究部会等の行事開催を見合わせ、一部はオンラインで実施しました。

一方、どなたでも在宅で受験できるよう、「UD 検定」のオンライン実施を開始し、全国から多くの方に受験していただきました。

さらに、10 回目となる「IAUD 国際デザイン賞 2020」では多様な分野で国内外より質の高い受賞があり、表彰式もオンラインで開催し、無事に 2021 年を迎えることができました。

今年最初の Newsletter では、古瀬敏理事長による新年のご挨拶を掲載します。

明けましておめでとうございます。

昨年は大変な年でした。年が明けた時には COVID19 は一般にはまったく情報が伝わっていませんでしたが、あっという間に状況が悪化し、IAUD でもさまざまな予定が変更を余儀なくされました。

個人的にも、少なくとも 4 つあった外国出張のうち 2 つはオンラインに切り替えられ、2 つは 1 年延期となっています。

現段階では、早い時点で影響がなくなって完全に元に戻るとは考えにくく、1 年延期とされた会議が実施されるかどうかには疑問符をつけたほうがよさそうな情勢です。慌てずゆっくりと行動しなければならないようです。

さて、そうしたなかで 2020 年に IAUD が行った事業についてご報告しましょう。まず IAUD 国際デザイン賞に関してです。

すでにご存じのように、国際社会は 2030 年に SDGs(国連の持続可能な開発目標)を達成しようとしています。SDGs の内容は多岐にわたりますが、よく見るとその内容は UD との親和性が高く、17 項目のうちの半数以上が UD を中心に据えることでクリアできると指摘されています。

そこで 2020 年のデザイン賞受賞「対象」に対して、SDGs の該当項目を明記しました。今後は過去の受賞「対象」にも追記していく予定です。

もう一つは UD 検定の初級と中級をオンライン化したことです。もともとは会場において初級講習を受けてから試験、中級は受験に先立って講習会を別途実施となっていたのですが、人が集まること自体が感染リスクとなるため、オンラインで行うように仕組みを導入しました。



古瀬理事長

これにより、基本的に場所と時間に制約されずに受験が可能となりました。日程が合わなかったり、会場まで出かけることが困難、という課題が解決され、全国から多くの受験者に申し込みをいただくことができています。

ただ、中級の事前講習会のオンライン化については、試みたもののいろいろな制約から実施に至りませんでした。また、システム上の制約から、現時点では情報保障が十分に確保されていませんが、何とかするよう努力中です。

会員各位のご助言とご協力をいただきながら今年も前に進むつもりですので、よろしくお願い申し上げます。

2021年1月
一般財団法人 国際ユニヴァーサルデザイン協議会理事長 古瀬 敏



オンライン開催！革新的なUD活動を国際的に表彰 IAUD 国際デザイン賞 2020 プレゼンテーション/表彰式開催報告



オンラインで開催した「IAUD 国際デザイン賞 2020 プレゼンテーション/表彰式」大賞表彰状授与の様子

持続的な共生社会の実現に向けたUD活動を国際的に表彰する「IAUD 国際デザイン賞 2020」の表彰式及びプレゼンテーションが2020年12月18日(金)にオンラインで開催され、世界13か国から約170人のご参加をいただき、大変盛況のうちに終了いたしました。

今回は世界14か国67件のエントリーから、「大賞」1件、「金賞」9件、「銀賞」19件、「銅賞」35件が選定され、当日は表彰状授与及び受賞者によるプレゼンテーションが行われました。

今号のNewsletterでは、表彰式の開催概要を報告します。

※「IAUD 国際デザイン賞 2020 プレゼンテーション/表彰式」開催速報は[こちら](#)をご覧ください。

※「IAUD 国際デザイン賞 2020」受賞結果は[こちら](#)をご覧ください。

※「IAUD 国際デザイン賞 2020」審査講評は[こちら](#)をご覧ください。

世界 13 か国から約 170 人がオンライン参加

今回で10回目を迎える「IAUD 国際デザイン賞」は、個人的なプロジェクトから企業による大規模なプログラムまで、国内外より多く応募いただいております。回を重ねるごとに多様な分野での応募が増えており、これまでに UD への理解の高まりを実証するような優れた活動や製品が受賞しています。

表彰式も 2017 年度はドイツ・ミュンヘン、2018 年度はタイ・バンコクと海外でも開催しており、毎回世界各国から多数の方にご出席いただいております。

今回は新型コロナウイルス対策のため、初めてオンラインで開催したところ、アメリカ、ドイツ、フランス、アルゼンチンなど世界 13 か国から受賞者や IAUD 会員、報道関係者など約 170 人にご参加いただきました。

情報保障としては日英の同時通訳を配信し、参加者は日本語と英語の音声を選択できるようにしました。



司会進行の川原審専務理事

世界 14 か国から 67 件のエントリー

当日は司会進行の川原啓嗣専務理事/協同事業検討委員長(名古屋学芸大学大学院教授)より、まずは受賞結果が発表されました。

今回は世界 14 か国(アメリカ、アルゼンチン、イギリス、イスラエル、オーストリア、ギリシャ、スイス、スウェーデン、スペイン、中国、ドイツ、日本、フランス、ラトビア)67 件のエントリーの中から、「IAUD 国際デザイン賞 2020 審査委員会」により「第 1 次審査(書類審査)」と「第 2 次審査(本審査)」が厳正中立に行われた結果、「大賞」1 件、各部門の「金賞」9 件、「銀賞」19 件のほか、UD において一定の基準を満たしたものに対し「銅賞」35 件が選定されました。



大賞の表彰状

大賞と金賞については、主催者を代表して古瀬敏理事長より表彰状が読み上げられました。受賞者からは、「名誉ある賞をいただき大変光栄」「受賞を機にこれからも UD を広く届けたい」「取り組みが国際的にも認められたことはスタッフやユーザーにとって励みになる」などのコメントを頂戴しました。参加者も、画面上にある拍手マークをクリックして受賞者の栄誉を称えました。



世界 13 か国から参加した受賞者より喜びのコメントが述べられた

SDGs の項目番号を表示

「IAUD 国際デザイン賞 2020」を受賞したすべての取り組みに、関係の深い SDGs (国連の持続可能な開発目標) の項目番号を表示しています。

UD の基本理念である包括性(inclusivity)は「誰一人取り残さない」という SDGs の原則と一致しており、UD と SDGs とは連動していると言えます。

そのことをより分かりやすくするため、今回より受賞と関係の深い SDGs を表示することにしました。



国連の持続可能な開発目標 17 項目

世界 6 か国の UD 専門家による審査委員会

表彰式の後、「IAUD 国際デザイン賞 2020 審査委員会」から講評がありました。

同委員会は 6 か国 9 名(英国、米国、ドイツ、ノルウェー、スペイン、日本)の UD 専門家で構成されており、UD 理念の提示や具体的なアイデアの提案、活動の実践等を踏まえ、国際的な視野から審査します。

コールマン審査委員長(英国王立芸術大学院名誉教授): 今回の受賞対象には基本的なアクセシビリティ機能をはるかに超えた、多くの革新的なアイデアやコラボレーションが UD にもたらされている。これは、ユーザーをデザインプロセスの中心に据え、既存の規範的な手法からコラボレーションと共感を主軸とした実践に変えることで実現できた。

益田文和副審査委員長((株)オープンハウス代表取締役): 今回の受賞対象の多様性に目を見張るとともに、賞のアイデンティティを明確にして応募内容や審査内容の明確化を行い、時代の流れに柔軟に対応していく必要がある。

ヴァレリー・フレッチャー審査委員(米国人間中心デザイン研究所所長): 大賞の取り組みは参加型と包括的デザイン両方の価値の水準を引き上げた。

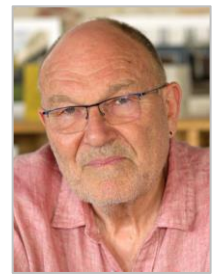
フランセスク・アラガイ審査委員(デザインフォーオール財団代表): これまで UD に取り組んできた多くの企業が、毎回改善して卓越したレベルに達している。

荒井利春審査委員(金沢美術工芸大学名誉教授): UD は時代とともに創造的な進化を続けており、今後はデジタルな提案の位置付けが課題。

オンニ・エイクハウグ審査委員(EIDD デザインフォーオール・ヨーロッパ会長): 重要な受賞基準は、デザインプロセスへのユーザーの関与にいかに重点を置いているかだ。

ラーマ・ギーラオ審査委員(英国王立芸術大学院ヘレンハムリンセンター所長): UD 実践者の指針となる、支援的かつ再生的な方法で人々と地球に利益をもたらす応募が多かった。

トーマス・バーデ審査委員(ドイツ IUD ユニヴァーサルデザイン研究所 CEO): 今回は海外からの応募が多く、デジタルな提案や持続可能性のある提案も増加した。



コールマン審査委員長



益田副審査委員

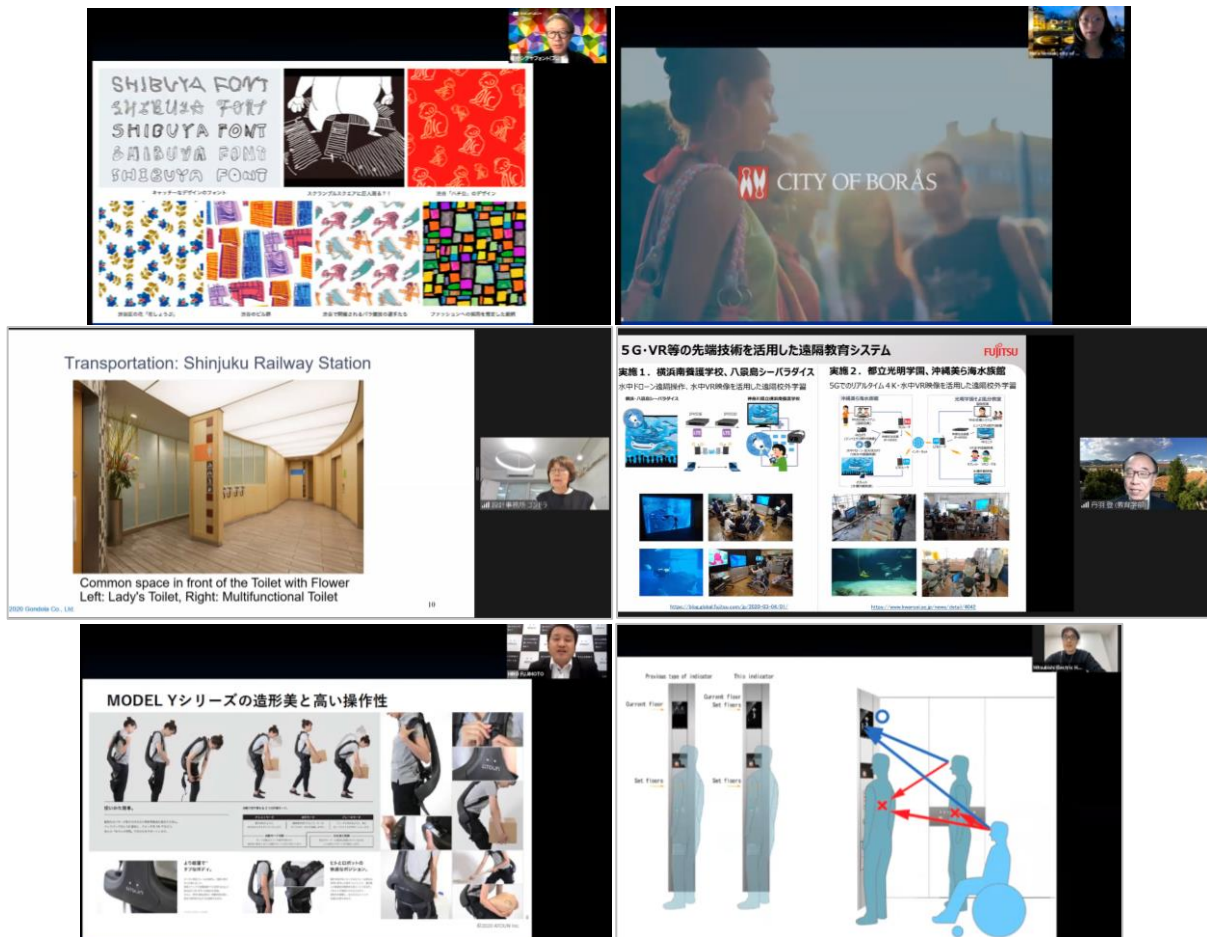


コメントを寄せたフレッチャー審査委員、アラガイ審査委員、荒井審査委員
エイクハウグ審査委員、ギーラオ審査委員、バーデ委員

国際的に評価された取り組みを紹介

最後に、大賞 1 件と金賞 9 件の受賞者による「IAUD 国際デザイン賞 2020 プレゼンテーション」が行われ、受賞した取り組みが日本、英国、イスラエル、スウェーデンからリモートで紹介されました。

※大賞と金賞の詳細は IAUD Newsletter vol.13 第 11 号(2021 年 2 月号)より順次紹介します。



世界各地からリモートで受賞内容がプレゼンテーションされた

「IAUD 国際デザイン賞 2021」開催へ

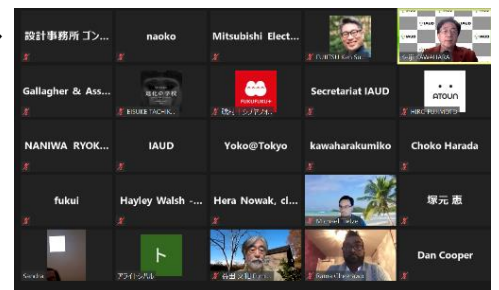
今回の表彰式は初めてオンラインでの開催となりましたが、地方や海外から多くの方にご参加いただきました。

受賞者の皆様には非常にわかりやすく、素晴らしいプレゼンテーションをしていただき、UD について多くの参加者と更に興味を深め共有することができました。

参加者からも感想として、「スムーズでダイナミックだった」「とてもよくコーディネートされていた」「同時通訳の操作も簡単で使いやすかった」など、大変良い評価をいただきました。

IAUD は今年も「IAUD 国際デザイン賞 2021」を実施いたしますので、多くの皆様に奮ってご応募いただきたくお願いいたします。応募要領は近日中に IAUD 公式サイトに掲載します。

※「IAUD 国際デザイン賞創設 10 年の歩み」を掲載した Newsletter は[こちら](#)をご覧ください。



世界 13 か国から約 170 人が参加した



在宅で好きな時に UD 資格習得 オンライン第 4 回 UD 検定・初級開催のご案内

IAUD は 4 回目となる「オンライン UD 検定・初級」を申し込み受付中です。

「オンライン UD 検定・初級」は、UD に関する基礎的な知識を学習する講習と力試し問題、検定試験(30分・50問)のセットです。

実施期間中であれば、時間・場所を問わず講習から検定試験までを受けることができます。

問題はすべてオンラインで受講した講習内容から出題され、合否は検定試験終了後すぐに判定されます。

合格者には「UD 検定・初級 認定証」を発行します。名刺への記載も可能です。

申し込み受付は 2 月 11 日(木)までです。この機会に是非、ご参加ください。

※「オンライン第 4 回 UD 検定・初級」詳細・申し込みは[こちら](#)をご覧ください。

※「オンライン第 1 回 UD 検定・初級」開催報告を掲載した Newsletter は[こちら](#)をご覧ください。



「オンライン UD 検定・初級」講習画面



2021 年 1 月の予定

月	火	水	木	金	土	日
11 成人の日	12	13	14	15	16	17
18 15:00~ UD+PJ オンライン会合	19	20	21 14:50~ 衣の UDPJ オンライン会合	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

※新型コロナウイルス対策のため政府より不要不急の外出の自粛が要請されていることを受け、IAUD では研究部会等の行事開催を見合わせ、一部はオンラインで実施しております。

次号は 2021 年 2 月上旬発行予定

特集:IAUD 国際デザイン賞 2020 受賞紹介①ほか

一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会
事務局:〒225-0003 横浜市青葉区新石川 2-13-18-110
電話:045-901-8420 FAX:045-901-8417 e-mail:info@iaud.net